阿戸地区の『新たなまちづくりプラン』の作成(ワークショップ)の流れ(予定)

阿戸地区がより住みよく、いきいきとしたまちとして持続していけるよう、 阿戸地区で活動する団体の皆さま(別掲)に参加していただき、地域住民自らが 参加し実施できる、具体的で実行性の高い、阿戸地区の『新たなまちづくりプラン』 の作成に向けた取組をスタートさせ、ワークショップを開催しています。

◆ 平成26年度 ワークショップ

~ まちづくりの『全体計画(素案)』をつくります ~

<阿戸地区ワークショップ参加団体>

阿戸町連合町内会 阿戸町女性会 阿戸地区青少年健全育成協議会 阿戸学区体育協会 阿戸小学校PTA あーと村運営協議会 阿戸中学校PTA 阿戸用商工会 阿戸町農事研究会 めだかクラブ NPOあ~と倶楽部 阿戸町ふるさとおこし 阿戸幼稚園・保育園 社会福祉法人あと会 子ども会

留守家庭子ども会保護者会 阿戸・矢野地域包括支援センター 、 阿戸中学校生徒代表

w S の

まとめ

阿 戸

地 区

ま

ちづ

ij

だ

第1回 ワークショップ テーマ 『地域を再発見しよう』 (魅力・資源、困っていること)

平成 26 年 7 月 26 日(土)開催

第2回 ワークショップ テーマ 『まちづくりのアイデアを出し合おう』

(魅力・資源を生かす・生み出す取組、問題点の解決策)

平成 26 年 10 月4日(土)開催

第3回 ワークショップ テーマ 『まちづくりのアイデアを掘り下げよう』

(将来像、地域でできること、行政で支援できること)

平成 26 年 12 月7日(日)開催

第4回 ワークショップ テーマ 『まちづくりの全体計画(素案)をつくろう』 (今回)

(まちづくりの『全体計画(素案)』としてまとめよう)

平成 27 年1月 31 日(土)開催

成果発表会

(平成26年度 ワークショップの成果報告など)

日時: 平成 27 年3月7日(土) 14:00~ 会場: 阿戸福祉センター



平成27年度 ワークショップ

~ 全体計画をもとに具体的に取り組む『行動計画』をつくります ~



具体的な行動 (可能な取組は平成 27 年度からスタートすることも)

まちづくりに関する意見を募集しています。

まちづくりについて、日頃お感じのこと(良いところ、困っていること(等々)やアイデア(例えば、地域でこんなことをしたい 等々)、この「まちづくりだより」を読んでのご意見、ご惑想などをお聞かせください。ワークショップで活用させていただきます。

<ご意見・ご感想の提出方法>

●意見箱での受付…阿戸公民館、阿戸出張所、阿戸福祉センターの3か所に意見箱を設置しています。

●ファックス・メールでの受付…ファックス、メール を、地域起こし推進課宛に直接お送りください。



※ お寄せいただいたご意見は、ワークショップやまちづくりだよりの中で公開させていただく場合があります。 なお、ご意見等は無記名でかまいません。また、個人情報等の取り扱いには十分注意し、個人が特定できる ような内容では公開しません。

問い合わせ・連絡先

安芸区役所 市民部 地域起こし推進課(担当:松原、来栖)

電話:(082)821-4905 FAX:(082)822-8069 E-mail: ak-chiiki@city.hiroshima.lg.jp

阿戸地区まちづくりだより



vol. 4

~阿戸地区新たなまちづくりプランの作成に向けたワークショップについて~

平成27年2月 発行:安芸区地域起こし推進課

第4回ワークショップは『まちづくりの全体計画(素案)つくろう』をテーマに進めました。

ここでは、1月31日(土)に開催しました第4回ワークショップ※のあらましを紹介します。

今回は、これまでの意見をもとに整理した「阿戸地区新たなまちづくりについて」をタタキ台に、意見を出し 合い、協議し、本年度のまとめとして「まちづくりの方向づけ」を行いました。

また、来年度に取りまとめる行動計画(プロジェクト: 具体的な取組)に盛り込む内容(目的、効果、実施時期、 担い手、連携、手法、資金などに関する内容など)、さらには、来年度から実践する取組について検討しました。 こうした協議結果の骨子(全体計画(素案))については、2、3頁をご覧ください。

第4回ワークショップのプログラム等(要点)

日 時:1月31日(土) 14:00~16:00

会 場:阿戸公民館

参加者:住民の皆さん16人、安芸区8人、進行役2人

■はじめに

〇成果発表会(3月7日)について

〇前回の振り返り、今日のプログラムの説明

〇新たなまちづくり (タタキ台) の説明

■今年度のまとめ(全体計画)について(班ごと)

〇阿戸地区の将来像は?

〇まちづくりの目標(取組の柱、方向づけ)は?

○プロジェクトと主要な取組は?

■来年度の行動計画について(班ごと)

〇行動計画に盛り込むことは?

〇来年度から実践する取組は?

■全体会

〇班ごとの発表

○意見交換、まとめ

事務連絡・終了



成果発表会

(平成26年度 ワークショップの成果報告など)

日時: 平成 27 年3月7日(土) 14:00~

会場: 阿戸福祉センター

ご参加のほど、よろしくお願いします。

<※ワークショップとは>

参加者が自由に意見を出し合い、互いの考えを尊 重しながら、意見・アイデアをまとめ、計画や提案 などをつくること、またはその集まりのことをいい ます。

まちづくりの取組

(全体メニュ

のプロジェク

魅力・資源、"強み"

問題点、"おしい"点

➡ 阿戸地区の課題("強み"を生かす、問題点を解決する、"おしい"点を"強み"にする) + プランづくりの視点(課題)

■阿戸地区にお金が落ちたり、お金が循環したりする仕組みづくり

※()は、特に関係の強いまちづくりの目標

■阿戸地区の人口を維持する仕組みづくり

■子育てしやすく、子どもたちが健やかに育つ仕組みづくり

■高齢者が元気で活躍する仕組みづくり など



<目指す将来像>

住みよさ実感

里山輝く、

"あーと"を感じる

魅力の里

阿戸

里山の自然と田園、それらに培わ れてきた暮らしと文化、"あーと' が息づく阿戸。

こうした環境を生かしながら、こ こに暮らすことの幸せを感じる 住みよい阿戸、そして都市住民等 が訪れたい、また来たい、住んで みたいと思える魅力のある阿戸 を築いていきます。

※あーと

ここでは、里山あーと村、アート (芸術、技術、創作)、阿戸らしさ・ 個性、そして"阿戸の文化全体"を 意図しています。

将来像のネーミングについては、 今後も検討を重ねます。

※吹き出しは、第4回 WSにおける意見の 一部を紹介

- ⚠"あーと"は前面に出しすぎない 方がよい←→"あーと"は入れた 方がいい!
- 〇"あーと"は阿戸の文化全体という意味 ⇒"あーと"を生かすことに
- ○当初案は「人と里山が輝く・・・」 →里山には人の存在が 含まれている ⇒「人」は入れない

A: 自然と田園文化を生かす阿戸づくり

里山の自然と田園、地域にある有形・無形の資源を掘り 起こし、生かしながら、阿戸ならではの暮らしや体験活 動などができる環境や仕組みづくりに取り組みます。

B:地産地消と食の魅力いっぱい阿戸づくり

阿戸の農業や農産物づくりを活性化しながら、阿戸なら ではの食の魅力や特産品づくりを進めるとともに、地産 地消による暮らしの豊かさづくりに取り組みます。

C:子どもたちの笑顔がいっぱい阿戸づくり

現在ある資源・施設を生かしながら、子育てしやすく、 子どもが健やかに育ち、地域の宝として、みんなで子ど もを見守る環境や仕組みづくりに取り組みます。

D:「あーと」ともてなしの阿戸づくり

住民が"あーと"に親しむとともに、都市住民等が訪れ、 リピーターとなるよう、里山あーと村や創作・ものづく りなどが地域に根づいていく環境と仕組みづくり、もて なしや魅力づくりに取り組みます。

E:安全・安心で暮らしやすい阿戸づくり

交通や買い物、医療、就労などに関わる課題を地域で共 有し、関係機関等と連携しながら、住民や関係者の知恵 と力を結集し、課題解決に取り組みます。

F:情報の共有・発信と人を生かす阿戸づくり (全体に関係)

地域の人を生かし、育てながら、資源などの把握や活用、 情報の共有化、そして話し合う場づくりを進めるととも に、阿戸の魅力などの発信に取り組みます。

保育園跡地(予定)活用プロジェクト(A、E、F) ○食、特産品づくりの場 ○広場の芝生広場化 ○働く場(雇用の場) ○ライブハウス ○更地化(利用検討)など

遊び場づくりプロジェクト(A、C、F)

 \circ ○休耕田の活用 ○自然の山の活用 ○水辺の整備 ○保育園(跡地)の広場の芝生化、○あーと村の活用など

遊休農地活用プロジェクト(A、F)

○耕作放棄地マップ ○地権者との交渉 ○花づくり ○市民菜園 ○鳥獣対策 ○子どもたちの作物づくりなど

空き家活用(空き家バンク)プロジェクト(A、E、F)

○空き家情報の把握 ○所有者の確認・協力依頼 ○情報発信

○空き家対策の支援制度の創設(広島市への依頼)など ° 0 C

阿戸の食とブランドづくりプロジェクト(A、B、F)

○農家レストラン、サポート ○阿戸の食材を生かしたメニュー ○安全・安心な作物づくり ○加工品 ○定期的な市など

自然活用プロジェクト(A、D、F)

○ホタルの里づくり ○名水の里づくり ○阿戸の生き物図鑑 ○自然を生かしたコースづくり、案内表示板の整備など

便利さ・活力向上プロジェクト(E、F)

○町内循環バス ○乗り合いタクシー ○学生の無料化(通学)

○働く場 ○地域営業部の創設 ○地域通貨の活用など

阿戸周遊・情報発信プロジェクト(A、B、D、F)

○景観10選 ○資源マップ ○阿戸だより・あと通信 ○阿戸のPR活動(WEB、パンフレット…) ○アニメ化など

<その他の主な取組(プロジェクト化の検討、個別での具体化など)>

- ○公共的空間の有効活用・創出(保育園跡地以外)
- ○アート(あーと)とものづくりの里(アーツ・アンド・クラフツ)
- ○行事・イベントの継承・創出・活性化(田園文化づくり)
- ○意見交換・課題検討の場(組織)づくり ⇒H27 年度からスタートを目指す

できる簡単な 設備も →○当初案は「耕作 放棄地対策 ⇒「遊休農地、 活用」

●まちづくりの場

〇サクラを活用

○周辺を含めて

○駐車場の確保

〇ベンチ、休憩

〇「遊休農地」 の取組との コラボ

〇民泊•農業体験 〇小中学生の

参加 〇出来るだけ行 動計画は作っ ておこう

〇「もてなし」の あり方で地域 間格差がつく

実践·行動 〇みんなで歩いて 阿戸の再発見 ○話し合いの場 〇「地域おこし

協力隊」の 提案づくり

※区の魅力と活力向上推進事業 効果、取組内容、取組の手順、 画を作 成 着手時期·期間 ひと・まち広島未来づくりファンド 平成 年度又は 担い手・体制、 支援・連携の相手、 年度から実践 (ふむふむ)などへの申請も検討 実現手法、 す るプ ロジェ 資金、 課題と解決策など) したいと考えています 取 組の 討

(目的、

来年度·

-2-